

日本経営士協会 70 周年記念特別講演会

「日本経営士協会の過去・現在・未来」

～ 更なる発展を祈念して ～

主催 特定非営利活動法人日本経営士協会

■ 概要

昭和 26 (1951) 年 9 月 10 日という、戦後復興期に、当時の通産省や産業界の勸奨を受け、日本公認会計士協会と設立母体を同じくする、日本で最初に誕生した経営コンサルタント団体となり、経営コンサルタント資格である「経営士」という資格の付与団体として貴重な存在です。

昨年、設立 70 周年を迎え、それを記念して、記念会報の発行や 5 回にわたる特別講習会を開催するなどの記念行事を開催しています。

コロナ禍で、会員が一堂に会しての記念式典を開催できる環境にないことから、この度、オンライン形式により記念特別講演会を開催することになりました。講師は、第 8 代会長で現名誉会長であります今井信行氏を講師に、首題のテーマで開催いたします。

■ 第一部の「過去の部」では、日本における経営コンサルタント業界の歴史と、当協会が果たしてきた役割、当協会の活動と歴代会長の紹介、新第二創業とその精神についてお話しいたします。

■ 第二部の「現在の部」では、最近のコンサルティング業界の現況、昨年度からの新体制の現況について、簡単に触れていただきます

■ 第三部の「未来の部」では、経営コンサルタント団体として、今後の協会のあり方という内容で、最も長い時間配分となっています。三共の本意・重要性とこれからのあり方を中心にした内容に加え、日本経営士協会会員としてのあり方、組織としての日本経営士協会の進むべき方向についての示唆をお話しいたします。

40 年余の会員歴・コンサルタント歴から、その体験を通してのお話は、今後の組織としての日本経営士協会、経営士・コンサルタントとしての会員のあり方に大いに参考になると信じております。

万難をお繰り合わせの上、ご聴講下さるようお願いいたします。

■ 講師紹介 今井 信行氏 (日本経営士協会 名誉会長)

アメリカで経営学、マーケティングを学び、日本の商社で輸出入業務や新商品開発と市場導入などを担当。ニューヨーク駐在所長、アメリカ法人役員などを歴任後、コンサルティング・ファームでの経験を経てから、経営コンサルタントとして1977年に独立。

大企業から中堅・中小企業まで、多くの企業の顧問として、マーケティング思考の経営戦略支援をし、国内だけでなくグローバルな活動をしている。ICTをベースにし、「温かい管理」というユニークな発想に、管理会計の手法を加味した、独特のコンサルティング手法とわかりやすい語り口から、多くの実績を上げている。

長年にわたる現場での豊かなコンサルティング実績をベースに、近年は、日本のコンサルタントの地位向上・若手育成に力を注いでいて、「コンサルタントのためのコンサルタント」と呼ばれる。日本経営士協会の会長等を歴任し、コンサルティングのためのスキルやノウハウを会員のおかれていた立場を踏まえて、わかりやすく説いている。

ソフトバンク「営業管理職のためのパソコン活用ノウハウ」、日経BP社「表計算ソフトのビジネス活用」、秀和システム「ロジカル・シンキングがよくわかる本」「あたたかい管理のための管理会計の教科書」、グローマ出版「発展し続ける企業の秘密の道」、アメリカ・マグローヒル社「アメリカにとって今が対日進出のチャンス」を始め、著書や論文・寄稿・講演など多数。

なお、講演会は、リモート受講のみとなっておりますので、ご都合を調整し、ご受講のほどお願い申し上げます。